

YACかわら版724

タイタンリッジの軽石

南種子町自然の家に宿泊して種子島宇宙セター等を見学したことがあります。朝の散歩で島間の海岸を散策した時に、小さなうすいクリーム色の軽石を海岸の小石の間に見つけました。確かに洗面器の水に浮かびました。どこから漂着したのだろうとみんなで語り合ったことがあります。福徳岡ノ場からの軽石漂着前のことです。

タイタンリッジからの軽石を調べる中で当時の光景を思い出しました。海上の軽石群を軽石筏（いかだ）と表現している外国の報道もあります。5月8日以降の観測データを広く探ってみました。

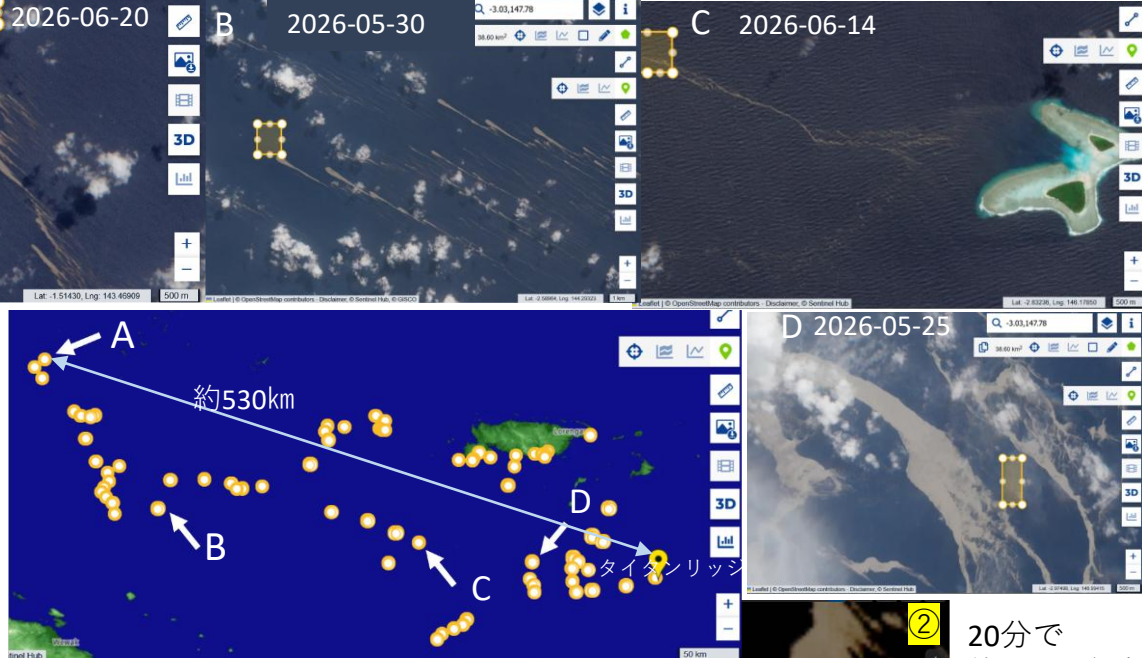
コペルニクスブラウザを使用して、観測日を変えながらタイタンリッジから漂流する軽石の群を追ってみました。見つけた軽石筏の側に目印を加えていきました。曇りの日も多く、観測範囲にちょうど軽石筏が確認できないことも多いです。その様子を、データ=Copernicus 30>レイヤー=

Topographicを使い整理しました。点正在している●印が軽石筏位置です。軽石筏は6月20日観測データでは、タイタンリッジから530kmも離れています。①

行ってみたくなるようなビスマルク海沿岸のサンゴ礁の海岸や砂浜でどのようなことが起きているのでしょうか。

YAHOOサイトで、天気・災害トップ> 災害カレンダー > 福徳岡ノ場の噴火による軽石被害（2021年8月13日）には次のような記事があります。

・軽石は、船のエンジンを冷却するための海水の取入口やこし器に詰まると、エンジンがオーバーヒートする。



- ・漂着した海域では船が航行できなくなり、漁業や離島の物流などに影響が生じた。
- ・漂着した軽石の大きさは直径4～5cm程度で、海面付近に10～20cmくらいの厚さで堆積していた。

以下略

<https://typhoon.yahoo.co.jp/weather/calendar/404/>

現地の島の海岸の様子です。



場所によっては軽石は、数メートルの厚みがあるとの報道も...



<https://www.abc.net.au/news/2026-06-08/papua-new-guinea-volcano-inundates-islands-with-pumice/106771612>

NASAのワールドビューで、センチネル2Bとランドサット8の同日観測データを活用しました。②③

同じ場所にマークし、移動距離を測定し、観測時の軽石筏の速度を推察しました。結果は時速約1.1kmです。

この速度は、速いのかな？おそいのかな？海流は一様ではないですが...。他の場所で他の観測日にも調べたくなりましたね。

